



安養寺便り

法皇天皇御宇に安養寺門跡の建立を命じ

第3号
平成27年
2月15日

真言宗
弘法大師88ヶ所霊場
東方山安養寺
520-3015
栗東市安養寺88
Tel 077-552-0082
Fax 077-552-9151
URL
touhouzan-anyouji.com
E-mail
to-anyouji@nifty.com



節分祭の挨拶

開創千二百年を迎えた 四国霊場、高野山を 参拝する春!

暦の上では立春を過ぎた
とは言え、厳しい余寒が続
く毎日、御座います。皆
様方にお変わりなくお過
ごしのことと大慶に存じ上
げます。
恒例の星供節分祭も無事
に終えることが出来まし
た。寒さと平日とも重な
つて参拝者は些か少の御座
いました。皆様方から事
前に申し受けました各自の
お星は懇ろに御祈禱させ
ていただき、お豆さんと一
緒にお手許にお届けさせ
て頂きました。

その寒さのなかを押して、
家内の慈苑大姉が亡くな
つて以来、行事の際には必
ずお越し頂いてあります土
口哲光僧正が、昨年の秋の
大祭を終えるや否や、胃癌
の全摘手術を終えられたに
関わらず、皆様方にご法話
を施したい、とのお申し出
によりご来山賜りましたこ
とは何よりのご法楽で御座
いました。
少なかつた参拝者の中か
ら四人の檀家さんが、只今
募集致しております。高野
山開創千二百年法要にご参
加頂けるとのお申し出があ
り、感激成された土口僧正
も是非とも一緒に参拝して
頂き、バスの中や高野山を
案内をさせて頂きたい、と。
お陰様で現在二十五名の
参加者が出来たことから、
中型バスが安養寺からの送
迎をしてくれる単独参拝が
可能となりました。
後十五名参加頂けると大
型バスで賑やかに参拝す
ることが出来ますので、ま
だお迷い頂いておられる方



護摩木供養風景

合掌礼拝

がありまして、千載一遇
のご法縁に、是非ともご参
加くださいますよう、御案
内申し上げます。
第三十七回を数えます本
四国詣りも、初参加のお二
人を含めて現在六名の参加
を頂いております。
こちらの方も併せて参加
をお待ち申しております。
やがて三月がすぐそこまで
やってきました。ご自愛
下さいましてお元気で御来
山下さいますことを、心より
お待ちしております。

星祭開運

志納者

- 四方隆
- 松田義勝
- 細谷卓爾
- 有馬哲
- 田耕明夫
- 村上イト
- 西山博
- 久保きくえ
- 宮崎藤子
- 西尾純一
- 長岡保子
- 小林友子
- 浅野利通
- 山田俊行
- 藤田悟
- 田中克和
- 堀内芳春
- 田村実
- 中西新次
- 西川富子
- 津守慶子
- 栗田俊一郎
- 有藤一巳
- 赤木弘之
- 福井登志子
- 末武隆成
- 吉津政昌
- 石川秀子
- 合田俊英
- 一坪徹夫
- 横山英雄
- 桑山由喜子
- 鏡原彰
- 桑山博史
- 田口光雄
- 福本経子
- 佐藤彰高
- 豊澤怜子
- 大野直
- 高田充康
- 宇田美佐子
- 中川智子
- 晶貴正巳
- 秋山千鶴子
- 森藤人
- 若林宗一
- 塩飽賢一郎
- 山田憲作
- 野玉幸
- 窪田啓子
- 大西正信
- 湯浅三郎
- 金子瞬次郎
- 小濱正行
- 吉廣恵里子
- 高尾屹
- 岩崎皓二
- 川人比佐夫
- 横田達昌
- 高畑幸子
- 瀬戸重雄
- 小松民子
- 米谷訓
- 利藤方貞
- 大角光子
- 吉長幸夫
- 金井万平
- 後藤千恵子
- 竹内康夫
- 富永昌和
- 近江東方会
- 永井勝彦
- 吉羽弘子
- 大西博司
- 大久保綾子
- 貝原光敏
- 山下登美子
- 坂田加代子
- 佐武金二郎
- 今池匡子
- 坂中房子
- 中本謙二
- 本郷みちる
- 薦田孝一
- 川北陽子
- 森圭助
- 父川慧始子
- 松村裕美子
- 里内勇次
- 山本正信



節分会願文

謹み敬つて真言教主大日如来両部
 界会、殊に別いては本尊聖者薬師瑠
 璃光如来、観音堂本尊観世音菩薩、
 諸尊諸菩薩十二神将、総じては薬師
 堂境内勧請諸仏諸神等内外権実一切
 の聖衆に白して言さく。

伏して惟みれば本尊薬師如来は琵琶湖湖南鎮護の靈像にして靈驗誠にあたらかなり。開運厄除の本誓は余尊に越え庶民守護の悲願、他聖に勝る靈応是れ高く巨益彌深し。ここをもつて、本日、乙未歳の節分をトして妙供を宝前に献じて護摩の密法を修して、法楽を天尊に供ず。それ節分といっぱ古代より朝廷において天皇自から行い賜う節日行事にして特に立春の前日称するものなり。ここに当山安養寺は天平十二年、聖武天皇の発願により良弁僧正の開創により、弘法大師が中興の祖と仰がれ、承和元年に堂宇を再建さる古刹なり。国家鎮護、濟世利民のものとしたり。故に開創以来、立春を言祝ぐ節分の行事は、当山の伝統行事として古来から連綿として相續され奉修、修行を重ねらるる吉祥成就の大祭なり。

近時、自然界の災いことのほか多く、人間界は騒然たり。一方、

科学の發達は人類に利便性をもたらすも、人心は穏やかならず。世相は懊惱にもたえる。しかれども当山熊谷俊亮住職は先人が営み続け心を鎮めし、自然の深い理智に則りし伝統の行事に加え大師流を継承せられし故慈苑大師の慈苑講員のご詠歌の豊かな調べを基調に至心に祈願の法筵を開く。

仰ぎ願わくば、本尊聖者薬師如来並びに觀世音菩薩、衆庶が微衷を哀愍して此の法味を嘗め、威光を倍増して速やかに転禍為福の慈悲を施し玉へ、

重ねて乞う

山内安全 密教紹隆 家業繁栄
 除災招福 福寿如意 乃至法界
 平等利益

平成二十七年二月三日

京都府向日市

龜光庵住職 土口哲光

敬つて白す



ご法話の様子

これからの行事ご案内

三月二十一日(祭) 彼岸中日
 午前十一時より

春季彼岸会法要
 於観音堂

三月二十三日、三十一日

第三十七回本四国八十八カ所霊場巡り

募集中 一月三十一日まで

費用は十六万円



四月十九日・二十日
 高野山開創千二百年記念大法会団参

高祖弘法大師の御恩徳に欲するまたとない機会
 で御座いますので、是非とも檀信徒の皆様方にはご
 参拝お願いします。



お知らせ

第三十七回四国巡拝団

結団式の開催

春季彼岸会法要の後昼食
 を挟んで四国巡拝団の結
 団式を観音堂にて行いま
 すので、お集まりくださ
 い。

その時に巡拝に必要な用
 品のお渡し及び連絡事項
 などを行います。



毎月一日は本尊月並祭
 併せて写経をやっておりますのでご参加下さい。

